

# 病院年報

---

2023



医療法人徳洲会

六地蔵総合病院

Rokujizo General Hospital

医療法人 徳洲会 六地蔵総合病院

# 2023年 病院年報

# 目 次

<b>1</b>	<b>巻頭言</b>	
	・院長 木戸岡 実	01
<b>2</b>	<b>理念</b>	
	・六地藏総合病院の理念／基本方針	02
<b>3</b>	<b>病院概要</b>	
	・施設概要	03
	・沿革	04
	・施設基準	05
	・フロアガイド	06
	・組織図	07
<b>4</b>	<b>患者統計</b>	
	・患者に関する各種統計	08
	・救急搬送件数統計	11
	・手術件数統計	12
<b>5</b>	<b>診療部門</b>	
	・内科	13
	・外科	15
	・整形外科	16
	・脳神経外科	17
	・小児科	18
	・泌尿器科	19
	・眼科	20
	・耳鼻咽喉科	21
	・皮膚科	22
	・救急科	23
	・リハビリテーション科	24
	・麻酔科	26
	・健診センター	27

<b>6</b>	<b>看護部門</b>	
	・看護部	28
	・手術室・中央材料室	33
<b>7</b>	<b>副診療部門</b>	
	・薬剤部	34
	・診療放射線科	35
	・臨床検査科	36
	・臨床工学科	37
	・栄養管理室	38
<b>8</b>	<b>事務部門</b>	
	・総務課	39
	・医事課	40
	・メディカルクラーク	41
	・地域医療連携室	43
	紹介数	44
	市民医療講演実績	45
	・情報システム管理室	46
	・保育室	47
<b>9</b>	<b>委員会</b>	
	・委員会組織図	48
<b>10</b>	<b>編集後記</b>	
	・事務長 林 裕一	49



六地蔵総合病院 院長

## 木戸岡 実



当院は、2022年11月に旧和松会から医療法人徳洲会へ経営母体が変わりました。その時点で、医療法人徳洲会から林事務長が赴任しました。さらに2023年3月に大河看護部長の就任、同年4月に私の着任と幹部体制が刷新することになりました。まさに2023年は激動の1年でした。

同年2月に病棟改修が始まりました。それまでであった障害者病棟を閉じ、4病棟から3病棟にしての運営となりました。順に病棟を改修するための、病棟ごとの引っ越しの繰り返し。回復期リハビリテーション病棟の再開。3月末の徳洲会全国大会での当院の救急お断り率の高さの指摘がありました。そこで4月からの本格的な救急の受け入れ開始。5月コロナの5類への類下げ。7月には電子カルテの変更。10月以降の4病棟の運用開始。11月宇治徳洲会病院の回復期リハビリテーション病棟の閉鎖による医師・看護師・セラピストの人事異動。

このような激変を経験したスタッフは、おそらくいないし、これからもこのような出来事は意図してなされるべきではなく、やむを得なく行われたものと理解しています。先の見えない中での判断も多々ありました。

医療界は今後とも変化の続く業界だと思います。

この1年の記録が、激変に日々真摯に対応した組織のあり方として振り返っておくことで、きっと役立つものになると信じます。

## 六地蔵総合病院の理念

---

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

## 基本方針

---

1. 「年中無休・24時間対応」にて地域医療に貢献します。
2. 十分な説明と同意を心がけ、患者さんの意思を尊重した医療を提供します。
3. 地域の医療機関・介護福祉施設などとの連携を密にして、地域医療の充実に貢献します。
4. 患者さんからの贈り物は一切受け取りません。
5. 医療技術・診療態度の向上にたえず努力します。
6. 患者さんの安全を常に考えながら公平で信頼される医療を行います。
7. 自分の家族にも受けさせたい医療を提供します。

## 患者さんの権利と義務の章典

---

- ・社会的な地位や病気の性質に関係なく誰でも平等に良い医療を行います。
- ・病状、検査、治療について十分に納得出来るまで説明し、自分の意思に基づいて選択・決定していただきます（インフォームドコンセント）。また別の医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいというご希望も尊重します。
- ・診療に際してはプライバシーを守ります。
- ・希望に応じて診療情報を開示します。
- ・個人情報「個人情報保護法」に基づいて適正に保護します。

## ■施設概要

病院名	医療法人徳洲会 六地藏総合病院
所在地	〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町9番地
電話	0774-33-1717
FAX	0774-32-8718
ホームページURL	<a href="https://www.rokujizogh.jp/">https://www.rokujizogh.jp/</a>
院長	木戸岡 実
診療科目	内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・外科・消化器外科・ 整形外科・脳神経外科・泌尿器科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・肛門外科・ 眼科・診療放射線科・リハビリテーション科・麻酔科（光藤努）・救急科
延床面積	11,096.459㎡（3,356.67坪）
敷地面積	5,336.9319㎡（1,614.42坪）
建物	鉄筋コンクリート構造 地下1階 地上4階
駐車場	43台
病床数	199床（一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）
指定	労災等
公共交通機関	地下鉄東西線「六地藏駅」3番出口より徒歩2分 JR奈良線「六地藏駅」徒歩5分 京阪宇治線「六地藏駅」徒歩8分
関連施設	徳洲会 訪問看護ステーション 六地藏支所 〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町9番地【六地藏総合病院隣接】 TEL: 0774-33-1721

## ■病院の沿革（大和診療所および医療法人和松会）

1959年（昭和34年）	大和診療所を京都市下京区七条大和大路の地に開設
1964年（昭和39年）	大和病院へと名称を変更し、救急医療の専門病院として地域に貢献する
1970年（昭和45年）	医療法人和松会設立
1982年（昭和57年）12月	大和六地藏病院を現在地に開設（128床）
1985年（昭和60年）	大和診療所・大和健診センターを京都市の中心部、四条柳馬場の地に開設
1987年（昭和62年）	京都府立医科大学研修指定病院の認定を受ける
1988年（昭和63年）	大和六地藏病院第二期工事完成し260床へ増床、大和病院閉院
1989年（平成元年）	大和六地藏病院から「六地藏総合病院」へと名称変更
1998年（平成10年）	訪問看護ステーション「まごころ24」を病院に併設
2003年（平成15年）	運動器疾患研究所を設立し脊椎、頸髓の拠点病院として活動
2006年（平成18年）	理事長：原島 裕 就任
2010年（平成22年）	院長：宮本 達也 就任
2011年（平成23年）	回復期リハビリテーション病棟を開棟
2013年（平成25年）	通所リハビリテーションを開始
2015年（平成27年）3月	医療法人和松会 会長 笠松 映允子 退任
2015年（平成27年）4月	株式会社 キャピタルメディカ アドバイザリー契約開始
2015年（平成27年）	地域包括ケア病棟を開棟
2015年（平成27年）	大和健診センターを分離
2017年（平成29年）	199床へ許可病床を変更し回復期リハビリテーションセンターを拡張移転
2021年（令和3年）2月	回復期リハビリテーション病棟閉棟⇒コロナ病床（30床）
2022年（令和4年）10月	医療法人和松会 六地藏総合病院 廃院

## ■病院の沿革（医療法人徳洲会へ事業継承後）

2022年（令和4年）11月	医療法人徳洲会 六地藏総合病院 として事業継承
2022年（令和4年）12月	売店「アスカ」閉店
2023年（令和5年）1月	喫茶「ルモンド」閉店 通所リハビリテーション 閉鎖
2023年（令和5年）2月	まごころ24「訪問看護ステーション」⇒宇治徳洲会病院 訪問看護ステーションサテライトへ移籍転換 まごころ24「居宅介護支援事業所（みなし）」 宇治徳洲会病院居宅介護支援事業所として吸収合併
2023年（令和5年）1月	S3 障害者病棟（43床）休床＝病棟単位改修工事開始
2023年（令和5年）3月	コロナ病用30床（確保病床）⇒12床（即応病床）へ転換 病院直営売店営業開始 回復期リハビリテーション病棟（コロナ使用）⇒再開棟
2023年（令和5年）4月	病院長：木戸岡実 就任
2023年（令和5年）4月	山城北二次輪番病院群へ参画（二次輪番受け入れ開始） S3病棟改修工事終了 / N3病棟（61床）休床＝改修工事開始 コロナ病用12床（即応病床）⇒10床（即応病床）へ転換
2023年（令和5年）5月	N3病棟改修工事終了 / N2病棟（42床）休床＝改修工事開始
2023年（令和5年）7月	N2病棟改修工事終了 / S2病棟（44床）休床＝改修工事開始
2023年（令和5年）9月	病棟改修工事完了 N3（回復期リハ）＝60床 / S3（地域包括ケア）＝38床 / 宇治徳洲会回復期リハ機能の全面移設
2023年（令和5年）10月	コロナ病床確保終了／病床改修工事編成完了 N3（回復期リハ）＝60床 / S3（地域包括ケア）＝38床 /
2023年（令和5年）11月	B1F 健診センター新規OPEN マンモグラフィ装置新規導入

### ■基本診療料の施設基準

機能強化加算  
 急性期一般入院料 4  
 救急医療管理加算  
 診療録管理体制加算 1  
 医師事務作業補助体制加算 2 40対1  
 急性期看護補助体制加算 25対1  
 (看護補助者 5割以上)  
 重症者等療養環境特別加算  
 医療安全対策加算 2  
 感染対策向上加算 2  
 患者サポート体制充実加算  
 データ提出加算 2  
 入退院支援加算 1  
 認知症ケア加算 2  
 せん妄ハイリスク患者ケア加算  
 回復期リハビリテーション病棟入院料 1  
 (体制強化加算 1)  
 地域包括ケア病棟入院料 1  
 (看護職員配置加算、看護補助者配置加算)  
 看護職員処遇改善評価料 3 3

### ■特掲診療料の施設基準

がん性疼痛緩和指導管理料  
 二次性骨折予防継続管理料 1  
 二次性骨折予防継続管理料 2  
 二次性骨折予防継続管理料 3  
 院内トリアージ実施料  
 夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急  
 搬送看護体制加算  
 外来腫瘍化学療法診療料 1  
 連携充実加算  
 ニコチン依存症管理料  
 薬剤管理指導料  
 医療機器安全管理料 1  
 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管  
 理料

在宅酸素療法指導管理料の注 2 に規定する遠隔モニ  
 タリング加算  
 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に規定する  
 遠隔モニタリング加算  
 検体検査管理加算 I・II  
 CT 撮影及び MRI 撮影  
 無菌製剤処理料  
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)  
 呼吸器リハビリテーション料 (I)  
 大動脈バルーンパンピング法  
 運動器リハビリテーション料 (I)  
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げ  
 る手術 (胃瘻造設術)  
 輸血管理料 II  
 輸血適正使用加算

### ■胃瘻造設時嚥下機能評価加算

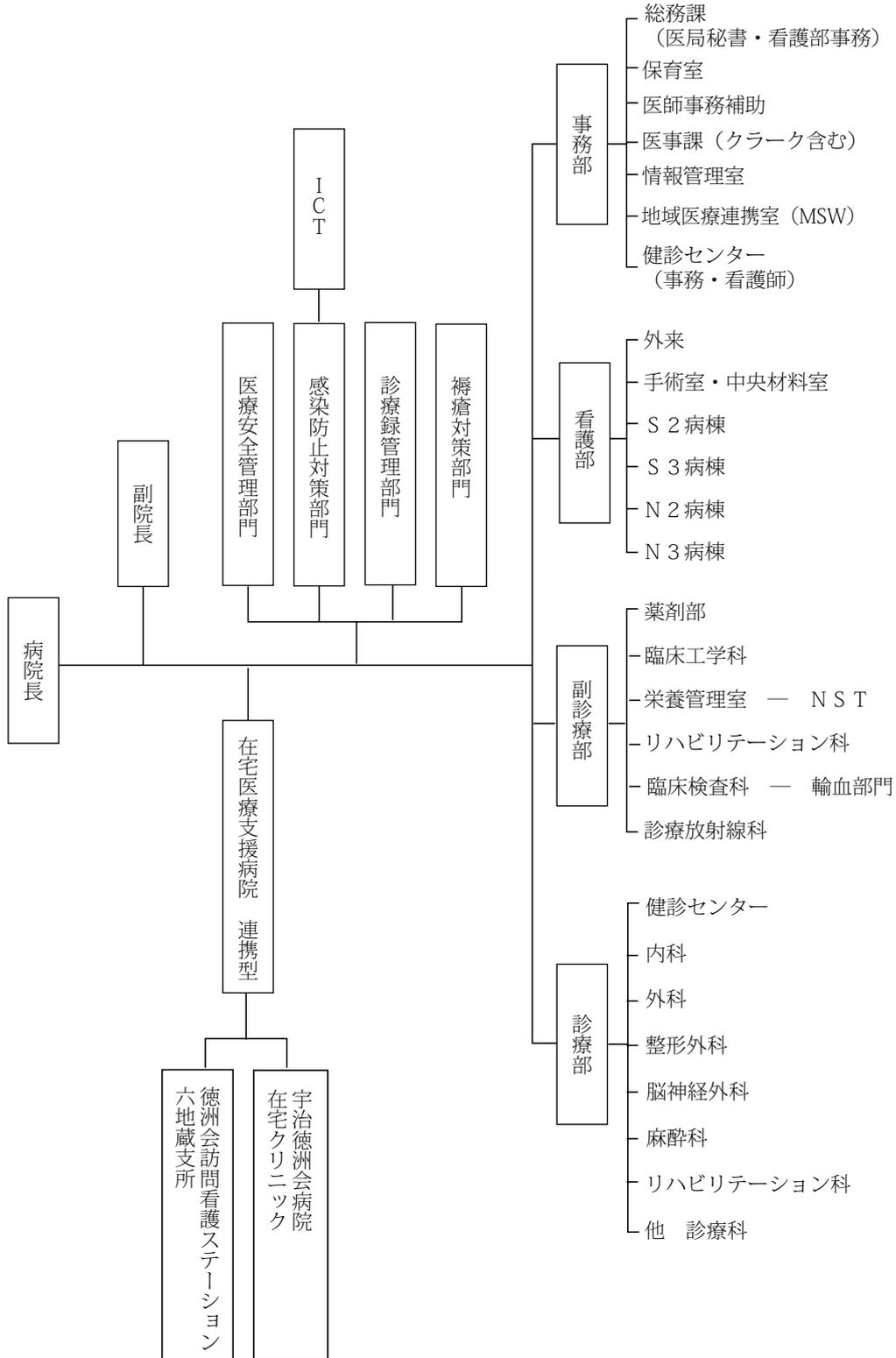
麻酔管理料 (I)

### ■入院時食事療養に係る施設基準

入院時食事療養/生活療養 (I)  
 酸素の購入単価に係る施設基準  
 酸素の購入単価

4F	リハビリセンター 会議室
3F	S3 棟病室 (地域包括ケア病棟 38 床) 300 ~ 307・310~313・321~323 N3 棟病室 (回復期リハビリテーション病棟 60 床) 315・325・350~357・361~365・371~377 ナースステーション ラウンジ
2F	S2 棟病室 (一般急性期病棟 55 床) 200 ~ 207・210~213・221~223 特別室 231~236 N2 棟病室 (一般急性期病棟 46 床) 215・225・250~257・261~265・271~275 ナースステーション ラウンジ
1F	受付 会計 売店 外来診察室 超音波診断室 中央臨床検査室 内視鏡室 会議室 救急室 夜間受付 夜間通用口 中央手術室 レントゲン室 地域医療連携室
G	健診センター MRI 情報管理室 栄養管理室 職員食堂 事務室 看護部 薬剤部 保育室

# 組織図



## 4

## 患者統計

## 外来患者に関する各種統計

Report2023

## ■診療科別外来延べ患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	1,280	1,016	1,267	1,131	1,135	1,241	1,285	1,398	1,284	1,180	1,224	1,358	14,799
外科	186	193	181	199	184	208	201	186	195	210	198	192	2,333
整形外科	868	847	1,051	883	954	1,026	796	821	835	819	799	852	10,551
脳神経外科	80	71	74	89	61	69	48	80	70	90	115	123	970
皮膚科	152	158	249	176	171	211	174	171	160	187	162	200	2,171
泌尿器科	91	103	108	106	115	98	77	85	141	103	96	120	1,243
形成外科	10	14	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
小児科	111	125	98	90	138	134	131	168	195	210	222	274	1,896
眼科	98	102	137	121	100	130	112	89	104	115	96	104	1,308
耳鼻咽喉科	87	95	108	89	88	83	80	78	74	86	80	97	1,045
麻酔科	0	2	1	0	1	0	2	1	2	3	5	5	22
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
救急科	0	0	0	0	0	0	9	17	5	1	0	3	35
合計	2,963	2,726	3,286	2,884	2,947	3,200	2,915	3,094	3,065	3,004	2,998	3,329	36,411

## ■診療科別外来初診患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	211	121	185	147	159	168	248	310	185	143	154	266	2,297
外科	34	34	24	42	38	33	42	40	45	50	49	46	477
整形外科	88	85	99	77	98	97	59	77	77	59	49	78	943
脳神経外科	18	10	6	10	5	5	2	6	6	12	30	23	133
皮膚科	27	19	24	26	23	40	17	33	24	23	15	29	300
泌尿器科	7	4	5	11	9	5	5	8	11	6	6	8	85
形成外科	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
小児科	49	44	25	17	41	20	51	98	101	114	129	161	850
眼科	7	10	10	9	10	15	2	8	6	9	7	10	103
耳鼻咽喉科	8	18	18	15	22	16	7	5	5	13	13	17	157
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	0	0	0	0	0	0	8	11	5	1	0	2	27
合計	449	346	398	354	405	399	441	596	465	430	452	640	5,375

## 4

患者統計

## 入院患者に関する各種統計

Report2023

## ■診療科別入院延べ患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	1,706	1,372	1,499	1,565	1,486	1,614	2,333	2,293	2,123	1,878	1,731	1,872	21,472
外科	315	269	275	283	238	269	290	244	263	282	239	291	3,258
整形外科	1,174	924	1,108	1,142	1,124	861	646	538	424	108	86	103	8,238
脳神経外科	333	323	468	520	527	501	460	642	912	1,073	1,198	1,253	8,210
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	9	15	9	3	0	18	6	8	1	9	9	9	96
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ科	233	253	219	304	640	922	953	995	958	1,756	1,748	1,759	10,740
合計	3,770	3,156	3,578	3,817	4,015	4,185	4,688	4,720	4,681	5,106	5,011	5,287	52,014

## ■診療科別新規入院患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	27	27	36	38	52	66	87	72	82	56	59	72	674
外科	9	4	13	8	13	8	16	7	11	16	14	19	138
整形外科	17	21	30	26	23	26	11	9	13	7	6	5	194
脳神経外科	5	8	11	7	12	25	21	31	14	45	35	37	251
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	3	5	3	1	0	6	2	3	0	3	3	3	32
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ科	3	5	1	14	6	18	13	17	27	22	17	7	150
合計	64	70	94	94	106	149	150	139	147	149	134	143	1,439

## ■診療科別退院患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	39	25	39	41	54	51	85	89	84	61	61	70	699
外科	9	8	8	14	11	7	19	5	13	14	11	19	138
整形外科	18	31	17	22	27	26	12	12	19	3	1	7	195
脳神経外科	6	6	8	8	10	24	16	14	8	28	27	33	188
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	3	5	3	1	0	6	2	2	1	3	3	3	32
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ科	0	7	2	0	7	12	13	20	20	24	26	23	154
合計	75	82	77	86	109	126	147	142	145	133	129	155	1,406

## 4

患者統計

## 救急搬送統計

Report2023

## ■ 2023年 救急隊別搬送件数

救急隊名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
伊勢田	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0	6
宇治西	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5
宇治中	3	3	0	1	0	1	4	6	2	1	0	1	22
宇治東	9	3	8	21	22	23	48	38	23	25	25	19	264
塩小路	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
下京	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
久御山	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
京都駅西	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
京都寺町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
京都南	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
向島	2	2	7	5	5	3	5	13	9	2	4	7	64
嵯峨	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
山科	0	1	0	1	3	1	5	6	5	4	3	5	34
城陽	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
神川	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4
西勧修寺	4	4	5	9	8	11	25	15	7	13	9	15	125
大山崎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
大塚	2	2	0	3	2	2	4	3	2	3	2	4	29
醍醐	5	7	15	24	27	29	58	63	49	35	34	31	377
池田	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
中京	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
東山	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
南浜	5	2	8	9	6	11	6	21	9	13	10	7	107
八幡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
伏見	3	0	1	1	4	0	4	15	4	5	2	10	49
淀	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
槇島	8	0	4	6	2	5	14	10	15	8	5	9	86
合計	43	24	48	83	79	89	180	198	131	112	95	111	1,193

## ■ 2023年 救急搬送件数・内訳

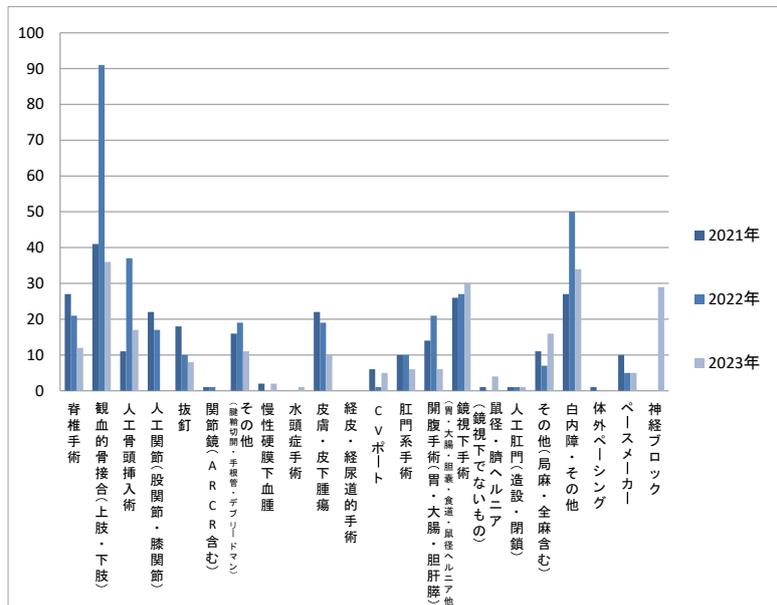
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
帰宅	33	21	24	52	41	32	100	110	68	46	46	53	626
転院	0	0	2	0	3	4	16	27	9	12	7	14	94
入院	10	3	22	31	35	52	64	61	54	54	42	43	471
死亡						1						1	2
合計	43	24	48	83	79	89	180	198	131	112	95	111	1,193

## 手術件数統計

## ■ 2021年・2022年・2023年 手術実績

		2021年	2022年	2023年
整形外科	脊椎手術	27	21	12
	観血的骨接合（上肢・下肢）	41	91	36
	人工骨頭挿入術	11	37	17
	人工関節（股関節・膝関節）	22	17	
	抜釘	18	10	8
	関節鏡（ARCR含む）	1	1	
	その他（腱鞘切開・手根管・デブリードマン）	16	19	11
脳神経外科	慢性硬膜下血腫	2	0	2
	水頭症手術			1
形成外科	皮膚・皮下腫瘍	22	19	10
泌尿器科	経皮・経尿道の手術	0	0	
外科	CVポート	6	1	5
	肛門系手術	10	10	6
	開腹手術（胃・大腸・胆肝膵）	14	21	6
	鏡視下手術（胃・大腸・胆嚢・食道・鼠径ヘルニア他）	26	27	30
	鼠径・臍ヘルニア（鏡視下でないもの）	1	0	4
	人工肛門（造設・閉鎖）	1	1	1
	その他（局麻・全麻含む）	11	7	16
眼科	白内障・その他	27	50	34
内科	体外ペーシング	1	0	
	ペースメーカー	10	5	5
麻酔科	神経ブロック			29
合計		267	337	233

## ■ 2021年・2022年・2023年 手術実績（グラフ）



## ■スタッフ（2023年1月～12月）

	一般内科	消化器	呼吸器	内分泌	循環器	脳神経内科	血液内科	漢方外来
部長	田中 俊樹 (2023.7～)	馬場 武彦 (～2023.9)						
副部長					平井 英基 (2023.7～)			
医員	原島 裕 金 章夫		清谷 哲也	大野友倫子 担当医	松岡 俊三 末吉 敦	原島 裕	担当医	牧野 茂 (2023.7～)

## ■診療内容・体制

## ＜一般内科＞

一般内科は、糖尿病や高血圧などの慢性疾患から、急性肺炎、尿路感染症、うっ血性心不全などの、急性疾患まで取り扱っております。

現代では、医療の専門性が細分化したことにより、患者様自身で適切な診療科を選択しかねる症状が増えてきました。六地藏総合病院でも、その地域性により当院には幅広い年代の患者様が様々な症状を訴えられ当院を受診されます。当科ではどの診療科に受診すべきかわからない患者様に対して最初の窓口としての役割を担います。

また、一般的な疾患に対しての治療と、血液疾患、循環器科など専門治療への紹介の橋渡しを行います。

また、健康診断でいくつかの臓器にわたる異常を指摘され、受診する診療科に困った際にも一般内科を案内させていただきます。

診断のついていない健康問題を抱える患者様 に対して臓器の枠にとられない横断的な知識を活かして、幅広い医療を提供することを目標 にしています。臨床の経験に富んだ医師が、診断・治療に難渋する患者様の問題解決に尽力しています。

診断の結果専門診療科への紹介が好ましい場合は、院内紹介や他施設への紹介を速やかに行い、高血圧や脂質異常症などの傷病に関しては引き続き当科で生活習慣の改善や投薬などのフォローをしていきます。

## ＜循環器内科＞

外来業務に従事しています。

入院診療については、循環器疾患（主に心不全）を中心に内科疾患全般の患者の診療を行っています。

検査（心電図、心エコー、採血、レントゲン）などを行い、心筋梗塞、狭心症、不整脈などより高度な治療が必要な時には近隣の病院と連携を測り、治療を受けて頂くよう準備します。

地域の方々安心して過ごせるよう、今後も循環器疾患治療に従事したいと思います。

## ■診療実績

## ＜外来診療＞

延べ患者数 14,799 人 紹介患者数 188 件

## ＜入院診療＞

延べ患者数 21,472 人 紹介患者数 277 件

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

●日時：2023年6月9日（金）

講師：原島 裕

演題：認知症のケアについて

●日時：2023年8月25日（金）

講師：平井 英基

演題：睡眠時の無呼吸について

●日時：2023年9月8日（金）

講師：金 章夫

演題：身近だけどよくわからない神経の病気について

「片頭痛・パーキンソン病・てんかん」など

●日時：2023年9月28日（木）

講師：田中 俊樹

演題：糖尿病の治療の話

## 院内・市民医療講演の様子



## ■スタッフ

部長 濱田 拓男

医員 大田 瑛子

医師数 常勤 2名

非常勤 2名

## ■診療内容・体制

外科では消化器、呼吸器等の悪性疾患だけでなく、外傷、肛門疾患、ヘルニア、炎症、胆石症、気胸等の良性疾患まで広範囲の疾患に対して、再診の専門知識と技術で治療にあたっています。また、身体への負担の少ない腹腔鏡下手術も積極的に取組んでおり、最新の手術機械を完備しています。

## ■診療実績

## &lt;外来診療&gt;

延べ患者数 2,333人

紹介件数 27件

## &lt;入院診療&gt;

延べ患者数 3,258人

紹介件数 32件

## &lt;手術実績&gt;

- ・鏡視下手術（30件）  
（胃・大腸・胆嚢・食道・鼠径ヘルニア他）
- ・開腹手術（胃・大腸・胆肝臓）（6件）
- ・鼠径・臍ヘルニア（鏡視下でないもの）（4件）
- ・肛門系手術（6件）
- ・人工肛門（造設・閉鎖）（1件）
- ・CVポート（5件）
- ・その他（局麻・全麻含む）（16件）

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

●日時：2023年6月23日（金）

講師：濱田 拓男

演題：当院における腹腔鏡手術



## ■スタッフ（2023年1月～12月）

	一般	脊椎	骨粗鬆症	関節外傷	肩関節
部長		宮本 達也 (2023.7～)	杉田 誠 (～2023.6)		
医員	松居 孝一 (2023.10～) 石川 裕志 担当医	清水 孝彬 (2023.9～)		市丸 宏三	祐成 毅

## ■診療内容

## &lt;対象疾患・症状&gt;

骨粗鬆症による椎体骨折  
変形性膝関節症  
大腿骨頸部骨折

## &lt;診療内容・方針&gt;

椎体骨折の保存的治療（入院加療を含む）  
変形性膝関節症に保存的治療  
大腿骨頸部骨折の手術とリハビリ加療

## &lt;診療科の特色&gt;

患者様個人の生活様式で合わせたゴールを設定し、手術やリハビリ治療を含めた丁寧な施術を目指しています。

## ■診療体制

整形外科の診療体制は2023年10月より常勤医が不在となり月曜日から土曜日まで毎日非常勤医師による体制で行っています。

## ■診療実績

## &lt;外来診療&gt;

延べ患者数 10,551人  
紹介件数 166件

## &lt;入院診療&gt;

延べ患者数 8,238人  
紹介件数 66件

## &lt;手術実績&gt;

脊椎手術（12件）  
観血的骨接合（上肢・下肢）（36件）  
人工骨頭挿入術（17件）  
抜釘（8件）  
その他（11件）  
（腱鞘切開・手根管・デブリードマン）

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

- 日時：2023年5月26日（金）  
講師：宮本 達也  
演題：腰痛対策は原因を見極めて

## ■スタッフ

部長 安河内 靖

木戸岡 実 (2023年10月～)

医師数 常勤 2名

## ■診療内容

脳血管障害、頭部外傷を中心に脳神経外科全般に対応しています。

また整形外科と協力し脊椎疾患についても診療を行っています。

## ■診療体制

9月までは部長1人体制であったため急性期で保存的治療の患者さん、亜急性期から慢性期のリハビリテーションを中心とした患者さんの診療を行っていました。

10月より木戸岡院長がリハビリテーション科専従から脳神経外科に移り2人体制となりました。今後手術を含め体制拡充に着手したところです。

## ■診療実績

## &lt;外来診療&gt;

延べ患者数 970人

実患者数 804人

紹介件数 19件

## &lt;入院診療&gt;

延べ患者数 8,210人

紹介件数 164件

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

●日時：2023年5月12日(金)

講師：木戸岡 実

演題：これからも増え続ける...脳卒中

●日時：2023年10月13日(金)

講師：安河内 靖

演題：今こそ知りたい！頭痛の原因と対策について

●日時：2023年10月14日(土)

講師：安河内 靖

演題：脳神経外科の診療などについて

主催：日本心臓ペースメーカー友の会・京都支部

## &lt;院外講演&gt;

●日時：2023年10月14日(土)

講師：木戸岡 実

演題：脳の病気とその対策「こんな症状あったら、  
脳の検査を受けましょう」

会場：東宇治コミュニティセンター 3階

医療講演の様子



### ■スタッフ

1月～6月：白井千晶ほか

7月～12月：

診療部長：牧野 茂

診療医員：門脇紗也佳

医師数

常勤(7月～) 2名

非常勤(1月～6月) 5名

(7月～) 12名

府立医科大学小児科関連

(1月～6月) 4名

(7月～) 6名

宇治徳洲会病院小児科

(7月～) 6名

### ■診療内容

小児科一般、成長発達関連、小児神経関連、アレルギーなど

### ■診療体制

1月～6月は、前任非常勤の白井千晶医師が週3回と府立医科大学小児科医局員4名の計5名で、午前診のみの診療であった。

7月以降、宇治徳洲会病院小児科より、2名の常勤医が赴任し、平日午後の診療(14時～17時)と水曜・木曜日の夕診(18時～20時)も開始した。午前診療は、前半の府立医科大学小児科医員による診療をそのまま継続であった。

午後以降の外来受診者数は、当初は認知度高くなかったためか多くなかったが、徐々に増加傾向にある。

### ■診療実績

#### <外来診療>

延べ患者数：1,896名

紹介患者数：12件

特に発達等支援外来(専門外来)の午後診の受診者は診察を開始した7月に比べ、12月には倍増した。なお、小児科におけるインフルエンザ予防接種については、合計123回の接種を行った。内訳は職員の子供が計99名(1回目59名、2回目40名)、小児科を受診した子供が計24名(1回目15名、2回目9名)であった。

### ■医療講演の実績

#### <院内講演>

●日時：2023年7月28日(金)

講師：牧野 茂

演題：乳幼児子育てよくあるQ & A  
～発達障害の疑いに対して～

●日時：2023年10月27日(金)

講師：門脇 紗也佳

演題：子どもの調子が悪いとき  
…医療機関の選び方

#### <院外講演>

●日時：2023年10月14日(土)

講師：門脇 紗也佳

演題：子どもの調子が悪いとき  
…医療機関の選び方

会場：東宇治コミュニティセンター 3階

## ■スタッフ

非常勤 白石 匠  
非常勤 蒲田 勇介  
医師数 非常勤 2名

## ■診療実績

## ＜外来診療＞

延べ患者数：1,243名  
紹介患者数：13件

## ■診療内容

泌尿器科一般

## ＜対象疾患・症状＞

泌尿器科は、主に腎臓、尿管、膀胱、尿道といった尿路（尿の流れ道）の病気を扱う外科であると共に、高齢男性の約4人に1人が悩んでいる前立腺疾患に伴う排尿障害や中高年女性の約3人に1人が経験する尿失禁に対しても治療を行っています。

血尿、排尿に伴う痛み、石の痛み、尿が近い、尿がもれる、尿が出にくい、残尿感、尿勢が弱い、排尿時間が長いなどの症状があれば、恥ずかしがらずに受診して下さい。

## ＜診療科の特色＞

前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱といった排尿障害をきたす疾患から、尿路結石症、尿路感染症まで幅広い疾患に対応します。手術や高度な処置・検査等が必要な場合には、宇治徳洲会病院や京都府立医科大学付属病院と連携し、適切に対応させていただきます。

## ■診療体制

非常勤体制にて週二回（火曜日と土曜日）の診療に限られるが、泌尿器一般外来および入院患者の診療依頼に対応している。また、手術や泌尿器科処置が必要となる患者様に対しては、必要に応じて宇治徳洲会病院や京都府立医科大学付属病院などと連携し対応している。

## ■スタッフ

医師数 非常勤 2名

## ■診療内容

## ・専門性の高い診断・治療

眼科は、眼に関する病気や障害に特化した診療科であり、眼に関する専門知識や技術を持った医師が診断・治療を行います。そのため、他の診療科と比べて専門性が高く、正確な診断や適切な治療が期待できます。

## ・多様な疾患に対応可能

眼科では、白内障や緑内障、網膜剥離、ドライアイ、眼瞼下垂、斜視、眼精疲労など、多様な疾患に対応することができます。また、一部の疾患に対しては手術を行うこともできます。

## ・非侵襲的な検査が多い

眼科では、非侵襲的な検査が多く、痛みやストレスを感じることなく検査を受けることができます。

例えば、視力検査や眼圧測定、角膜検査、眼底検査などが挙げられます。

## ・予防医学の側面がある

眼科では、疾患を発症する前段階の検査や定期的な受診によって、疾患の早期発見・治療を目指す予防医学の側面があります。特に、糖尿病や高血圧などの生活習慣病が原因となる網膜症などについては、早期発見が重要とされています。

## ■診療実績

## ＜外来診療＞

延べ患者数 1,308人

紹介件数 34件

## ＜入院診療＞

延べ患者数 96人

## ＜手術実績＞

白内障・その他 34件

## ■医療講演の実績

## ＜院内講演＞

●日時：2023年7月14日（金）

講師：松本 晃典

演題：人生100年時代の目の健康



# 耳鼻咽喉科

Report2023

## ■スタッフ

医師数 非常勤 3名

## ■診療内容

耳鼻咽喉科一般

当科では耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭の一般的な疾患を扱っている。

## ■診療体制

非常勤のみで火曜日、土曜日の午前に外来診療を行っている。

生検、手術、放射線治療、化学療法等が必要な場合は宇治徳洲会病院をはじめその他関連病院と連携を取り診療している。

## ■診療実績

### <外来診療>

延べ患者数 1,045人

紹介件数 16件

**■スタッフ**

非常勤 稲川 みずほ  
非常勤 太田 梨紗  
医師数 非常勤 2名

**■診療内容**

皮膚科一般

**■診療体制**

週2回、水曜日と金曜日午前に非常勤医師による  
外来診察を行っています。

**■診療実績**

アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、慢性湿疹、中毒疹、  
白癬症、尋常性疣贅、熱傷、下腿潰瘍、皮膚腫瘍など、  
皮膚疾患全般を幅広く診察しています。

地域医療に密着した診療を目標とし、患者様の訴え  
をよく伺ったうえで皮膚症状の改善を目指します。  
皮膚症状の改善のためにスキンケアの指導や、軟膏の  
外用方法、自己処置の方法についても丁寧に指導して  
います。

また当院に入院中の患者様に生じた皮膚疾患、皮膚  
潰瘍、褥瘡なども診察しております。

真菌検査、皮膚生検、血液検査、体表エコー、ABI、  
下肢動脈エコー、下肢静脈エコー、CT、MRIなどの  
検査は必要に応じて当院で行います。皮膚腫瘍、皮下  
腫瘍の切除の必要があるようなら、提携の宇治徳洲会  
病院形成外科などにご紹介しております。また、より  
専門的な検査や入院治療が必要な場合には、他院をご  
紹介いたします。

今後とも他科の先生方、職員の方々と共によりよい  
診療体制を目指しております。

**■診療実績****<外来診療>**

延べ患者数：2,171人  
紹介患者数：14件

### ■スタッフ（2023年7～12月）

医 員 3名（交代で1名／週・体制）

救命士 6名（交代で1名／1日・体制）

### ■診療の特色

2023年7月にグループ病院である宇治徳洲会病院の協力を得て、救急科を発足しました。

主に地域の救急患者の初期診療を行い、入院・手術などの治療に適切に繋がります。脳卒中・急性心筋梗塞などの救急患者に対しては、自施設で可能な範囲での対応を行い、必要に応じて連携している救命救急センター（宇治徳洲会病院）に迅速かつ安全に転送させていただきます。

今後、施設内外での勉強会・症例検討会などで更に連携を強化し、軽症～重症までをカバー出来る施設を目指して参ります。

地域の皆さまに安心して頂ける救急科を目指し取り組んでおります。どうぞよろしくお願い致します。

### ■診療実績

2023年救急搬送件数 1,193件

#### <救急搬送件数・内訳>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
帰宅	33	21	24	52	41	32	100	110	68	46	46	53	626
転院	0	0	2	0	3	4	16	27	9	12	7	14	94
入院	10	3	22	31	35	52	64	61	54	54	42	43	471
死亡						1						1	2
合計	43	24	48	83	79	89	180	198	131	112	95	111	1,193

### ■診療体制

#### <地域を支える新しい救急体制>

京都市南部～宇治市までの患者様を診療させていただいております。

救急科専門医を始めとした救急診療を得意とする医師が交代して勤務しており、質の高い救急診療を行っております。必要時は、宇治徳洲会病院救命救急センターと緊密な連携をとり高度な診療に繋がっていきます。



### ■スタッフ構成（2024年1月現在）

専任医師：3名

理学療法士（PT）：21名

作業療法士（OT）：9名

言語聴覚士（ST）：1名

事務：1名

その他、宇治徳洲会病院より十数名のPT、OT、STの応援にきていただいている。

### ■特徴

2022年11月より徳洲会グループに入り、上記のスタッフ構成のもと、リニューアルした一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、ならびに外来でのリハビリテーションを実施している。特に患者さんの個別性を大切に、その患者さんに適したリハビリテーション（オーダーメイドのリハビリテーション）を医師の指示のもと実施することに、スタッフ全員で日々取り組んでいる。

また各病棟には、専従の医療相談員（メディカルソーシャルワーカー；MSW）も配置しており、病棟スタッフとともに多職種による退院支援を実施している。

### ■診療体制・施設基準

上記した一般病棟、回復期リハビリテーション病棟（入院料Ⅰ）、地域包括ケア病棟（入院料Ⅰ）、外来リハビリテーションとそれぞれ専任ならびに専従の担当者（セラピスト）を配置して、患者さんの回復状態に合わせたリハビリテーションを実施するように努力している。

当院リハビリテーション科の施設基準は以下の通りである。

1. 運動器リハビリテーションⅠ
2. 脳血管疾患等リハビリテーションⅠ  
（廃用症候群リハビリテーションⅠ）
3. 呼吸器リハビリテーション

### ■リハビリテーションの実績

2023年1月～12月のリハビリテーション実績（実人数、総単位数）は以下の通りである。

#### ●運動器リハビリテーションⅠ：

外来：218人、2,355単位

入院：798人、62,987単位

#### ●脳血管疾患等リハビリテーションⅠ：

外来：114人、1,332単位

入院：319人、45,559単位

#### ●廃用症候群リハビリテーションⅠ：

入院：427人、22,402単位

#### ●呼吸器リハビリテーション（10月から算定開始）：

入院：20人、901単位

### ■学会発表の実績

<学会発表>

#### ●第58回京都病院学会

日時：2023年10月29日～11月26日

・演題：体幹の筋緊張異常が問題となった脊髄損傷患者の理学療法－松葉杖歩行の獲得に至った症例－

演者：赤松 圭介

・演題：超慢性期脳血管疾患患者の歩容に対するアプローチ－体幹機能に着目して－

演者：渡邊 裕文

#### ●第57回日本作業療法士学会

日時：2023年11月10日～12日

演題：食事動作の自立に向け主に体幹機能へアプローチした術後頸椎症性脊髄症の一症例

演者：大内 啓（作業療法士）

#### ●第28回日本基礎理学療法学会学術大会

日時：2023年12月2日～3日

演題：健常者の着座動作屈曲相における下肢・体幹の肢位変化

演者：山本 悠介

## ■ 院外講師等の実績

### < 院外講演 >

● 日時：2023年10月14日（土）14時～16時

講師：藤本 将志

テーマ：不良姿勢がおよぼす影響

— 姿勢の改善に向けて —

会場：東宇治コミュニティセンター 3階

● 日時：2023年12月16日（土）10時～11時

講師：渡邊 裕文

テーマ：一生自分の足で歩ける人生

会場：アルス京都六地藏リスタシア 1階

主催：アルスシルバー会

### < 講師活動 >

● 京都理学療法士会山城ブロック研修会

講師：渡邊 裕文

テーマ：片麻痺患者の歩行の特徴とアプローチについて

日時：2023年8月27日（10時～12時）

会場：京都山城総合医療センター

● 認定理学療法士講習会

講師：渡邊 裕文

テーマ：脳血管疾患患者に対する評価と治療

日時：2023年9月3日

会場：やす整形外科クリニック

主催：大阪府理学療法士協会生涯学習センター

● 大阪公立大学 身体障害作業療法学Ⅱ

講師：鈴木 三央

テーマ：神経リハビリテーションの実際

日時：2023年5月18日（9時～12時10分）

会場：大阪公立大学

● 国際医学技術専門学校 特別講義

講師：鈴木 三央

テーマ：中枢神経疾患の神経リハビリテーションの実際

日時：2023年10月27日（9時～12時30分）

会場：国際医学技術専門学校

## ■ 診療実績

### < 入院診療 >

延べ患者数 10,740人

紹介件数 130件

院外講演の様子



### ■スタッフ

麻酔科部長 光藤 努

非常勤麻酔科医師 平田 学

医師 常勤 1名

非常勤 1名

### ■診療内容

手術室での手術麻酔管理、整形外科領域の透視下腰部神経根ブロック。

### ■診療体制

前年 11 月に診療母体が医療法人徳洲会に移行、新型コロナウイルス禍での病棟閉鎖、病棟改装工事があり、常勤医の減少・手術室スタッフの減少あり、手術も制限された。

### ■診療実績

2023 年の総手術件数は 208 件、うち麻酔科管理 129 件です。129 例中全身麻酔単独が 77 例、全麻・硬麻 40 例、脊麻 10 例、静脈麻酔単独 2 例です。2022 年の総手術件数は 328 件、麻酔科管理 223 件で、うち全身麻酔単独 108 例、全麻・硬麻 104 例、脊麻 9 例、静脈麻酔単独 2 例でした。また麻酔科医による透視下神経根ブロックは 2023 年 29 例（2022 年は 33 例）です。

### ■医療講演実績

#### <院内講演>

●日時：2023 年 11 月 10 日（金）

講師：光藤 努

演題：よくわかる 麻酔のお話

院内講演の様子



## ■スタッフ

診療医長 岩永 資隆  
 医師 常 勤 1名  
 職員 看護師 1名  
 事務 1名

## ■診療内容

人間ドック、脳ドック、がん検診（乳がん、子宮がん、大腸がん、前立腺がん）、健康診断（一般、特殊、雇入時、その他）、特定健診

## ■診療体制

2023年11月に開所し、火・木・土曜日のみ診療を行っている。

## ■診療実績

2023年11月～12月

## ＜ドック、健診等＞

人間ドック	19人
脳ドック	1人
一般健診	60人
特定健診	11人
生活習慣病健診	9人
レディース健診	1人
入職時健診	12人

## ＜主な検査等＞

胃内視鏡検査	11人
胃X線検査	2人
腹部超音波検査	10人
マンモグラフィー	2人
頭部MRI検査	1人

## ■医療講演の実績

## ＜院内講演＞

- 日時：2023年12月22日（金）  
 講師：岩永 資隆  
 演題：結核：古くて新しい病気  
 ～公衆衛生の視点から～



健診センター待合室



問診室・診察室



マンモグラフィー

## ■Ⅰ．2023年 看護部目標

1. 患者さんの望む生活の場につなげられるよう地域との連携を深め、継続看護の質を高める
2. ワークライフバランスを維持し、心身の健康を保ち、やりがい感をもって働き続けられる職場環境を目指す
3. スタッフが安心・安全な職場環境で看護の実践ができる（看護用品と患者の療養環境を整備する）
4. 多職種協働で、救急断りゼロを目指す
5. 経費を削減（ムダ・ムラ・ムリの実践と雑費）する

## ■Ⅱ．2023年 六地蔵看護部方針

1. 倫理的視点を持ち、質の高い看護を提供する
2. 科学的根拠に基づいた安全・安心な看護を提供する
3. 社会・疾病構造の変化に対応する当院の医療体制で看護を創造する
4. 救急から在宅まで医療と生活の視点を持って“人”を看ることに看護の専門性を発揮する
5. 看護の本質「やさしさ」を持って患者に寄り添い、生活の場に繋げる看護を発展させる
6. 組織の融和に努め、円滑で効果的なチーム医療を実践する

## ■Ⅲ．2023年 看護部総括

当院は、2022年11月1日に和松会から徳洲会に経営移譲された。2023年1月から病棟編成が行われ3月から改修工事が計画的に進められた。（表1）

表1 「病棟改修に伴う病床数変更と病棟移動」

機能/ 病床数	2階南 (S2 病棟)		2階北 (N2 病棟)		3階南 (S3 病棟)		3階北 (N3 病棟)		病床数
1～2月	一般急性期	46	回復期リハビリ 回リハ20 コナ 30	50	障害者病棟	43	地域包括ケア	60	199
3月	地域包括ケア	49	一般急性期 一般 25、コロナ 12 (休床 6)	37	改修工事 閉鎖	54	回復期リハビリ	53	139
4月	地域包括ケア	49	一般急性期 一般 25、コロナ 10 (休床 8)	35	回復期リハビリ	46	閉鎖 休床	61	130
5～6月	一般急性期 一般 38、コロナ 10 (休床 10)	48	改修工事 閉鎖	42	地域包括ケア	46	回復期リハビリ	53	147
7～8月	改修工事 閉鎖	48	一般急性期 一般 42、コロナ 10 (休床 10)	52	地域包括ケア	46	回復期リハビリ	53	151
9月	一般急性期 コロナ10(休床10)	10	一般急性期	56	地域包括ケア	38	回復期リハビリ	60	164
10月	一般急性期	35	一般急性期	35	地域包括ケア	38	回復期リハビリ	60	168
11～12月	一般急性期	40	一般急性期	40	地域包括ケア	38	回復期リハビリ	60	178

2023年7月 電子カルテ変更

10月 保健所監視：特に指摘事項なし

10月 宇治徳洲会病院より看護師10名の異動

11月 適時調査：特に指摘事項なし

表2 「2023年 看護部人員」

	看護職員数 常勤換算	看護職員 入職者数	看護職員 退職者数	看護補助者数 常勤換算	看護補助者 入職者数	看護補助者 退職者数
1月	95.82	1	5	20.23	2	0
2月	92.58	3	4	21.23	0	0
3月	91.25	5	13	21.10	0	0
4月	86.46	11	3	25.40	5	1
5月	86.5	2	1	25.4	0	0
6月	88.46	4	1	25.40	2	1
7月	89.26	3	2	27.40	1	0
8月	90.26	3	4	27.40	0	0
9月	93.46	2	2	27.40	1	0
10月	102.46	11	6	29.40	1	0
11月	102.46	5	1	30.20	1	0
12月	101.46	2	9	31.20	1	0
計		52	52		14	2

法人が変更になり徳洲会経営方針である「救急を断らない・許可病床を使い切る」に則り、毎月の入院患者数の目標達成に向け看護部の運営を行った。その結果、業務量のアップと和松会とのギャップ、さらに病棟改修に伴う病棟引っ越し・病棟編成(表1)、また8月10月12月とコロナクラスターと重なり、多忙を理由に退職者が増加した。(表2)この状況は全く予想だにできず、看護部教育計画の実践と感染対策の指導・強化が追いつかず。そこで、急変時対応やOff-JT/OJTにつながる教育の実践を2024年1月からラダー1・2を中心に教育を行った。また2023年12月から、組織全体がようやく落ち着き178床/199床の稼働で運営した。



看護備品で古い備品・既存で不足の備品・新規に必要な備品など計画的に購入・整備を進め、看護ケアの質向上と業務の効率を進めた。

看護職員数は微増であり、年齢構成は30代から40代が多い。2023年度看護部目標を次年度にも引き続き具体化・実践し、1日も早く全床稼働できるよう看護責任者を中心に進めていく。

褥瘡対策では、2023年度は本部目標：1.0%未満、2.4%未満である。2023年7月から褥瘡予防用具の新規レンタル用品によりケアの充実が図れた。(表3)

表3 「褥瘡発生率」

	実質褥瘡発生率	推定褥瘡発生率
2023年7月	1.34	1.97
8月	1.37	2.68
9月	0.34	2.03
10月	0.66	2.40
11月	1.67	3.45
12月	0.32	0.63

#### ■IV. 各病棟の概要

1. 一般急性期病棟（入院基本料2）N2病棟：40床 + S2病棟：40床 = 80床

< N2病棟：前川裕子 師長 >

- ・急性期疾患の治療・回復を目的とした病棟。検査・手術が必要な場合や、肺炎・感染症など集中的な治療が必要な時期から安定するまでの患者を受け入れた。
- ・周術期から看とりまで、対象となる患者の年齢層も幅広く対応した。
- ・スタッフ間のコミュニケーションも良く、時間内に仕事を終わられるよう皆で声をかけあって協力できた。



### < S2 病棟：中村利恵 師長 >

- ・予約入院をはじめ救急搬入となった急性期・周術期の看護を行った。  
急性期から自宅に帰る患者の在宅調整も必要に応じ、多職種と連携し実施した。幅広い看護の中で、沢山の体験と実践を積んでいける病棟運営を行った。日々、慌ただしく過ぎた1年であったがチーム一丸となり、看護職をはじめ多職種連携を取りながらスタッフ一同組織の変動に対応した。



### 2. 回復期リハビリテーション病棟（入院基本料1）60床

#### < N3 病棟：川原史論 副主任 >

- ・急性期の治療を終え、受傷前の状態に近づけるためのリハビリテーションを専門とする病棟
- ・「その人らしい生活の可能性を追求し、入院生活と退院後の生活を見据えた援助で円滑な退院を進める」と病棟目標を掲げ、多職種協働で実践することができた。
- ・院内外との多職種とのコミュニケーションや情報の共有が、リハビリテーション看護に活かされていることが当病棟の強みである。



### 3. 地域包括ケア病棟（入院基本料1）38床

#### < S3 病棟：中光輝代 師長 >

#### 1. 病棟概要

- ①主な疾患：内科・外科を問わずあらゆる疾患の急性期を脱した疾患、白内障手術、ペースメーカー電池交換、レスパイト入院
- ②入院先：自宅、連携病院からの紹介入院、介護福祉施設、当院からの転棟
- ③退院先：自宅、介護保険施設、介護医療院、療養病院、急性期病院
- ④在宅復帰率 75%以上を常に維持
- ⑤月平均3人以上の救急患者の受入

#### 2. 看護活動の内容

- ①退院支援：退院に向けての地域連携室との協働で介護サービス事業所や施設などとの調整。住み慣れた地域での生活に戻れるリハビリテーション、日常生活の方法の検討や医療手技の習得や変更。在宅療養を継続するための家族への指導。
- ②多職種カンファレンス：退院に向けて、多職種で1回/週退院支援カンファレンスを実施



## ■V. 外来

### ○スタッフ

看護師：常勤 9人 非常勤 4人

准看護師：常勤 1人 非常勤 4人

看護補助者：非常勤 1人

7月1日から宇治徳洲会病院救急総合科の医師1名と救急救命士1名が毎週月曜日に応援に来ていただいた。徳洲会組織の「救急を断らない」をモットーに対応し、応需率がアップした。

そのため、今までに経験のない患者層の搬入があり、救急看護の質向上や体制確保に努力が必要と実感した。

また、7月から宇治徳洲会病院小児科医師2名が転勤され、小児外来の充実が図れた。

宇治市の地域では5箇所の地域が人口が増えている中、六地藏地域は対前年増減数で一番多く人口増となっている。今後増々、救急患者対応や地域のかかりつけ医機能の役割が果たせる外来になれるよう努力を重ねていきたいと考えています。

2023年10月1名の若手男性看護師の入職があり、場が和みスタッフ皆で育成に取り組み、活気づいています。

## ■診療実績

外来・延べ患者数：36,411人

外来・紹介件数：705件

## ■VI. 看護部加算関係

1. 地域包括ケア病棟 看護配置加算
2. 地域包括ケア病棟 看護補助者配置加算
3. 急性期看護補助体制加算 25：1
4. 入退院支援加算 1 2023年5月
5. 認知症ケア加算 2 2023年7月
6. 100：1 夜間急性期看護補助体制加算 (2024年3月)

## ■VII. 実習受け入れ

1. 京都府医師会看護専門学校 (2024年 京都中央看護大学校・京都厚生看護学校 予定)
2. ふれあい看護体験  
日時：2023年7月26日(水) 9～15時  
参加者：高校3年生 4名

## ■VIII. 認定看護師

1. 認定看護管理者：1名
2. 感染管理認定看護師：1名

入職オリエンテーション・BLS講習の様子



看護体験の様子



## 6

看護部門

## 手術室・中央材料室

Report2023

## ■スタッフ

看護師

常勤 2名

非常勤 1名

看護補助者

非常勤 1名

## ■業務内容

手術室は4室あり、外科、整形外科、眼科を中心とした手術を行っています。また今年度からは、脳神経外科手術が再開されることとなり、手術室環境も少しずつ整備されてきています。

中央材料室は手術器械や院内の器材類の洗浄・滅菌業務を行っています。

## ■業務体制

手術業務は平日のみですが、常にオンコール体制をとっており、院内外の緊急・救急症例にも迅速に対応できるようにしています。当院は小規模病院であるため、人員や器材など限られた資源を最大限活用し、地域のニーズに応えられるよう日々努力しています。

## ■導入実績

2023年7月

過酸化水素ガスプラズマ滅菌装置

「ステラッド 100NX」導入

## ■業務実績

2023年 手術実績 (1月~12月)		
整形外科	脊椎手術	12
	観血的骨接合 (上肢・下肢)	36
	人工骨頭挿入術	17
	人工関節 (股関節・膝関節)	
	抜釘	8
	関節鏡 (ARCR 含む)	
	その他 (腱鞘切開・手根管・デブリードマン)	11
脳神経外科	慢性硬膜下血腫	2
	水頭症手術	1
形成外科	皮膚・皮下腫瘍	10
泌尿器科	経皮・経尿道的手術	
外科	CV ポート	5
	肛門系手術	6
	開腹手術 (胃・大腸・胆肝膵)	6
	鏡視下手術 (胃・大腸・胆嚢・食道・鼠径ヘルニア他)	30
	鼠径・臍・腹壁癒痕ヘルニア (鏡視下でないも)	4
	人工肛門 (造設・閉鎖)	1
	その他 (局麻・全麻含む)	16
眼科	白内障・その他	34
内科	体外ペーシング	
	ペースメーカー	5
麻酔科	神経ブロック	29
合計		233



## ■スタッフ

## 薬剤師

常勤 5名（うち時短1名）

## 事務

常勤 2～3名（うち時短1名）

## ■業務内容

調剤、無菌調製（高カロリー輸液、抗がん剤）、院内製剤調製、外来がん患者指導、医薬品情報業務、医薬品管理業務、宇治市新型コロナウイルスワクチン接種事業、薬剤管理指導業務、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟における病棟業務（入院時初回面談、退院時薬剤サマリー作成など）、委員会活動（医療安全対策委員会、医療安全管理部門会、感染対策委員会、褥瘡対策委員会、NST委員会、化学療法委員会、レジメン委員会、薬事審議委員会など）、チーム医療（ICT、褥瘡、NST、二次性骨折予防）

## ■業務体制

薬剤師5名のうち調剤室担当3名、病棟担当2名とした。調剤室担当は調剤、無菌調製、新型コロナワクチン接種事業、外来がん患者指導、医薬品管理、医薬品情報管理を行った。病棟担当は2023年11月までは急性期病棟に1名、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟に1名を配置した。急性期病棟では薬剤管理指導業務、回りハ・地ケア病棟では入院時の初回面談及び退院サマリー作成を行った。

しかし、急性期の病床数増加に伴い業務量が増加したため12月より退院サマリー作成を停止し、主に全病棟の入院時の対応を行った。

事務は棚卸、薬剤部のデータ収集等の事務業務の他に、医薬品在庫管理業務、発注、採用品目管理、電子カルテ及び調剤システムのマスター管理、調剤補助業務を行った。昨年に引き続き、医薬品の出荷調整品目が多かったが、事務の迅速な対応によりほとんど欠品することなく供給することができた。

## ■業務実績（2023年1月～12月合計）

処方箋（枚）	24068
処方（件）	56122
注射（件）	40323
麻薬処方箋（枚）	286
無菌製剤処理科 1（件）	14
無菌製剤処理科 2（件）	145
非算定無菌調製（件）	18
連携充実加算（件）	2
非算定外来ケモ指導（件）	22
薬剤管理指導 325点（件）	610
薬剤管理指導 380点（件）	357
非算定（件）	681
退院時指導（件）	103
非算定退院時指導（件）	707
サマリー作成（件）	616
麻薬指導（件）	8
薬剤総合評価調整加算（件）	8
薬剤調整加算（件）	7

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

●日時：2023年6月23日（金）

講師：栗本 秀子

演題：便秘と薬のお話



# 診療放射線科

Report2023

## ■スタッフ

診療放射線技師

常勤 9名 (男性スタッフのみ)

事務

常勤 1名

## ■2023年放射線科概要

### ○装置

一般撮影装置2台、CT装置1台、MRI装置1台、  
骨塩定量測定装置1台、X線TV装置1台、  
マンモグラフィ装置1台、外科用イメージ装置1台、  
ポータブル撮影装置2台

## ■業務体制

平日の日勤帯は、すべてのモダリティを円滑に稼働させるべく、必要十分な人員を配置しています。

日祝の日勤帯、及び夜間は一人日勤・夜勤体制を取り、一人であっても全てのモダリティに対応できる体制となっています。

## ■2023年の業績

学会発表 京都病院学会 (野口克己 発表)

院内講演 市民医療講演

(野口克己 八木章斗 講演)

## ■2023年の実績

診療放射線技師の増員

2名の増員となり、今まで以上に患者様に寄り添った検査が、可能となった。

マンモグラフィ装置の新規導入

健診センターの開業に合わせて、マンモグラフィ装置を新規に導入した。

## ■2023年 紹介件数

放射線科 4件

MRI 153件

CT 32件

MRI+MRA 6件

X-P 1件

## ■2023年 検査別月推移

	一般	透視	CT	MRI	骨密度	乳房	月合計
1月	796	3	272	87	26		1184
2月	679	4	209	96	34		1022
3月	856	5	288	149	49		1347
4月	800	2	317	115	53		1287
5月	849	2	333	133	48		1365
6月	929	3	385	120	55		1492
7月	768	3	449	112	14		1346
8月	734	5	459	119	10		1327
9月	711	9	422	130	7		1279
10月	972	5	442	123	21		1563
11月	632	1	405	127	32	1	1198
12月	709	4	459	111	24	1	1308
年合計	9435	46	4440	1422	373	2	15718

## ■スタッフ

臨床検査技師

常勤 4名

非常勤 4名

## ■業務内容

### ●生理検査

心電図・負荷心電図・24時間心電図（解析含む）・肺機能・ABI・脳波・一酸化窒素濃度・眼底・眼圧・簡易睡眠時無呼吸検査（解析含む）・聴力・各種超音波検査等

### ●検体検査

生化学・血液・輸血・尿・病理関連・PCR等

その他

検査業務に付随する業務（報告書作成・機器メンテナンス・精度管理・受付業務等）

## ■業務体制

オンコール体制にて夜間対応中。

必要時はいつでも検査対応が可能です。

また、救急室には緊急時に対応する為、必要最低限の検体機器を配置し、少しでも待ち時間を減らす体制を保持しています。

現在、検体検査はブランチラボ運用ですが、自主運用へ準備中です。

生理検査は予約制を軸に運用しておりますが、飛び込みの検査依頼を断らないを目標に協力し合いながら対応しています。

生理検査・検体検査どちらも対応出来る様、日々研鑽に努め、業務に取り組んでいます。

## ■業務実績

### <生理部門>

昨年は、コロナの影響か外来数の伸び悩みの影響か、生理部門は横這いの状況であった。

徳洲会グループ病院となり、外来数の増加等で依頼数は増え、月毎の目標件数も高い数字で達成できている。

### <検体部門>

現在の検体部門はブランチラボ形態で運用している。徳洲会のグループ病院となり、検体件数は月を追うごとに増加。月毎の目標件数も問題なく達成できている。

### <精度管理>

日本医師会・京都府技師会の精度管理事業に参加し、適正な精度管理を行っている。

## ■医療講演の実績

### <院内講演>

●日時：2023年7月28日（金）

講師：三輪 成利

演題：コロナについて

●日時：2023年10月27日（金）

講師：宮川 智子

演題：病院の感染対策



# 臨床工学科

Report2023

## ■スタッフ

臨床工学技士

常勤 1名

## ■業務内容

### ①手術室業務

麻酔器始業点検、腹腔鏡準備・録画、顕微鏡準備・録画、白内障手術装置準備・介助

各種 ME 機器の管理

### ②外来内視鏡業務

スコープ洗浄

### ③呼吸管理業務

人工呼吸器のラウンド、NPPV のラウンド、始業点検、呼気弁交換、呼吸器搬送救急車同乗等

### ④機器管理業務

医療機器の保守点検、人工呼吸器の管理、除細動器・AED の管理。

## ■業務体制

手術室、内視鏡室、病棟、宇治徳洲会病院の協力のもと質の高い医療の提供に努めています。

技士 1 名体制のため、近隣の宇治徳洲会病院より宇治徳 CE の適時応援をいただいております。

それにより年末年始・夏季休暇時の代行、コロナ隔離・及び有給取得時の応援、外来内視鏡業務の立ち上げ支援、宇治徳洲会病院での研修受け入れなどバックアップ体制があります。

## ■業務実績

### ①手術室業務

麻酔器点検 107 件、自己血回収装置 2 件、白内障手術 32 件、腹腔鏡手術 23 件

ペースメーカー交換 5 件

### ②外来内視鏡業務

上部消化管内視鏡 40 件、下部消化管内視鏡 18 件

### ③呼吸器管理業務

IPPV 延べ日数 575 件、NPPV 延べ日数 237 件

### ④機器管理業務

使用后・使用前点検 222 件、定期点検 76 件、院内修理 25 件

## ■保有認定資格

透析技術認定士 1 名

## ■医療講演の実績

### <院内講演>

●日時：2023 年 11 月 10 日（金）

講師：阿曾沼 琢磨

演題：「いのちのエンジニア」

～臨床工学技士を知っていますか？～

### ■スタッフ

管理栄養士

常勤 2名

〔職員〕管理栄養士 2名

事務員 1名

給食委託会社 13名

(病院給食は全面委託)

### ■業務内容

栄養管理及び給食管理業務全般

### ■業務体制

食事は治療の一環であるとともに患者サービスの一環である。

給食業務は安全、安心、満足を目標に給食委託会社と協力し、温冷配膳車を使用し食事を提供している。栄養管理としては入院患者を対象に入院時栄養スクリーニングを行い栄養管理計画書を作成し患者個人の状態を把握し他職種と連携をとり栄養管理を行っている。また外来栄養食事指導や入院栄養食事指導も実施している。チーム医療としては栄養サポートチームや褥瘡対策チームに参加する他、回復期リハビリ病棟のカンファレンスやがん化学療法カンファレンスにも参加している。今後も信頼される医療の提供に貢献できるように日々研鑽を重ねて業務に取り組んでいきたいと考える。

### ■業務実績

<栄養食事指導件数>

栄養食事指導合計：250件

入院/外来内訳：入院 210件 外来 40件

(病態内訳)

糖尿病	96件	心臓疾患	67件
腎臓疾患	8件	癌化学療法	24件
高血圧	21件	消化管術後	8件
脂質異常	14件	低栄養	8件
その他	4件		

### ■保有認定

NST 専門療法士：1名

### ■医療講演の実績

<院内講演>

●日時：2023年8月25日(金)

講師：石川 恭子

演題：フレイル予防のための食事の工夫



季節のメニュー（ひな祭り）

## ■業務内容

## ○総務課業務分担表

担当者	業務内容
総務管理	防火・防災関係、保健所関連
人事担当	人事関係（求人、入退職・異動）、本部報告
給与担当	給与、賞与計算、年末調整、安全衛生関係 社会保険手続、福利厚生
資材	資材調達関連
経理	経理業務
その他役務	医局秘書業務、表彰・渉外、院内売店

※12月末時点 総数11名（派遣職員含む）

## ○福利厚生実施状況

- ・24時間の院内保育所の運営
- ・職員食堂の昼食代半額補助実施  
600円 → 300円
- ・秋の職員健診 2023年10月実施  
成人病検診の無料実施（本人及び扶養家族）

## ○病棟改修工事

- 2023年3月 S3病棟改修 稼働病床数 139床  
 2023年4月 N3病棟改修 稼働病床数 130床  
 2023年4月 外壁塗装（2023年6月完了）  
 2023年5月 N2病床改修 稼働病床数 147床  
 2023年7月 S2病棟改修 稼働病床数 155床  
 2023年9月 病棟改修終了 稼働病床数 174床  
 トイレ改修工事（院内全て）  
 （のちに10月より178床で稼働）

## ○院内事業の変更

- 2023年2月 職員食堂リニュアルオープン  
 2023年3月 院内売店直営営業開始  
 2023年11月 健診センターオープン

## ○新規取得機器一覧（取得価格100万円以上）

- 2023年1月 日立コンプレッサー  
 2023年4月 手術用ラパロ鉗子他一式  
 2023年4月 腹腔鏡手術システム  
 2023年5月 低温プラズマ滅菌器  
 2023年5月 白内障手術装置  
 2023年9月 フルデジタル乳房X線撮影装置  
 2023年9月 産婦人科検診台・ワークステーション  
 2023年11月 無散瞳デジタル眼底カメラ  
 2023年11月 マンモグラフィ画像表示端末一式  
 2023年12月 ハンフリーフィールドアナライザー

## ○病院行事の実施

- 2023年4月1日 合同入社式  
 2023年11月5日 六徳フェスタ  
 来場者数 約800人弱  
 2023年11月20日 消防訓練大会  
 ・消火器操法 2チーム（4名）参加  
 ・屋外消火栓操法 2チーム（6名）参加

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

- 日時：2023年9月28日（木）

講師：田中 誠

演題：地震が起こったら、まずこれをしましょう！

## ○職種別職員数

（常勤換算数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
医師	16.5	16.1	16.9	17.4	17.2	17.9	19.6	18.6	18.7	17.7	17.7	18.8
看護師	108.3	107.6	107.0	107.9	109.6	110.5	113.1	112.8	108.6	124.4	123.5	124.5
コメディカル	56.5	57.1	54.1	56.1	58.1	57.0	55.7	54.1	54.8	56.0	57.8	56.8
事務	46.7	45.6	47.2	53.0	55.0	54.1	54.5	54.7	52.7	53.7	55.7	55.8
合計	228.0	226.4	225.2	234.4	239.9	239.5	242.9	240.2	234.8	251.8	254.7	255.9

## ■スタッフ

医事課長	1名
主任	1名
副主任	2名
入院担当	4名
外来担当	8名
パート	3名
病棟クラーク	4名
診療情報管理士	1名
渉外担当	1名

## ■業務内容

- ・窓口対応
- ・救急対応
- ・外来受付、外来診療費計算
- ・入院受付、入院診療費計算
- ・診療報酬請求業務
- ・未収金管理、回収
- ・施設基準管理
- ・医療統計業務
- ・診療情報管理業務

## ■レセプト件数（2023年／件数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
入院	173	251	240	221	248	273	303	286	302	307	305	312
外来	1,925	1,739	1,969	1,832	1,837	1,981	1,987	2,121	2,063	2,019	2,032	2,239

## ■1日の流れ

- 8:25 朝礼
- 8:30 初再診受付
- 9:00 会計業務、来客対応  
交代でお昼休憩
- 13:00 会計業務、来客対応
- 15:00 レジ締め
- 17:00 レセプト期間（月末から翌月の10日）など  
繁忙期は残業

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

- 日時：2023年7月14日（金）

講師：飯田 良子

演題：病院でかかるお金の話

- 日時：2023年12月22日（金）

講師：山寄 純平

演題：公費で受けられるワクチンについて

## ■導入実績

2023年7月 受付機、自動精算機 導入



受付窓口



受付機（2023.7～）



自動精算機（2023.7～）

## ■スタッフ

医師事務作業補助者

常勤 6名

非常勤 2名

## ■業務内容

医師事務作業補助者（メディカルクラーク）とは医師が行う作業の事務的な部分をサポートする業務です。主に午前中は外来診療補助、午後は文書作成等を行っています。

- ・外来補助業務、代行入力、検査、会計等の案内
- ・医療文書の作成
- ・NC D登録
- ・JOANR整形外科登録
- ・ワクチン外来補助業務
- ・外来診療予約変更登録
- ・大腿骨近位部骨折の調査作成

## ■業務体制

《外来診療補助人員配置構成》

月曜日	午前	内科 4名	整形外科 1名
火曜日	午前	内科 3名	整形外科 1名
		眼科 1名	脳神経外科 1名
水曜日	午前	内科 5名	脳神経外科 1名
木曜日	午前	内科 4名	脳神経外科 1名
		眼科 1名	
	午後	ペースメーカー外来	1名
	午後	コロナワクチン外来	交代制 2名
金曜日	午前	内科 3名	眼科 1名
土曜日	午前	内科 2名	(2023年12月現在)

## ■業務実績

当院は2022年度、徳洲会グループの参入により、2023年度は、新体制への対応が必要となりました。これに伴い、医師事務業務も効率化を図るべく以下の取り組みを実施しました。

### ①新カルテの操作習得

説明会参加、マニュアル確認、システムとの調整等を行い操作の習得に努めた。

### ②文書管理システム（メディパピルス）の導入

手書き文書の作成からカルテ引用が可能に。

### ③医事課との連携による業務の見直し

Excel管理からメディパピルスでの管理が可能になり、文書関係の事務処理を整理した。

## 【結果】

- ・書類作成の時間短縮
- ・新システム導入後の作業効率アップ

《2023年研修活動実績》

医師事務作業補助者 32時間研修

吹田徳洲会病院（8月19日、20日）4名参加

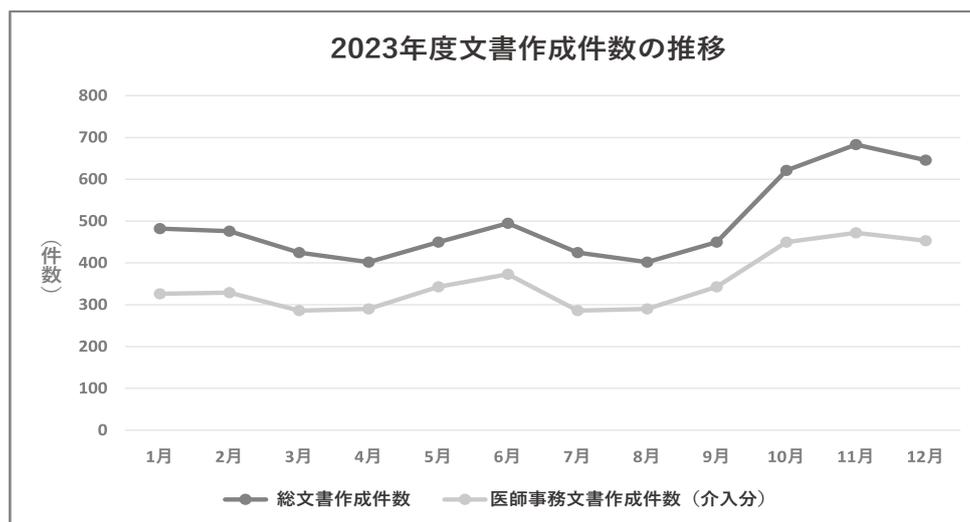
《 2023 年（1 月～ 12 月）文書作成実績 》

文書作成総件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
診療情報提供書 返書	150	148	142	121	114	133	142	121	114	209	266	252	1,912
訪問看護指示書	59	72	64	73	84	92	64	73	84	99	95	98	957
介護保険主治医意見書	39	40	32	34	54	41	32	34	54	47	57	51	515
生活保護	71	84	41	57	54	24	41	57	54	61	100	68	712
回答書	5	5	4	5	6	2	4	5	6	8	6	5	61
診断書	57	56	52	40	60	92	52	40	60	67	48	55	679
傷病手当金 労災文書	15	8	18	12	9	14	18	12	9	16	10	17	158
その他（上記項目以外）	86	63	72	60	69	97	72	60	69	114	101	100	963
合計	482	476	425	402	450	495	425	402	450	621	683	646	5,957

医師事務文書作成件数（介入分）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
診療情報提供書 返書	10	14	23	18	18	17	23	18	18	49	56	65	329
訪問看護指示書	59	72	64	73	84	92	64	73	84	99	99	98	961
介護保険主治医意見書	23	27	12	25	43	35	12	25	43	36	52	45	378
生活保護	71	84	41	57	54	24	41	57	54	61	100	68	712
回答書	5	5	4	5	6	2	4	5	6	8	6	5	61
診断書	57	56	52	40	60	92	52	40	60	67	48	55	679
傷病手当金 労災文書	15	8	18	12	9	14	18	12	9	16	10	17	158
その他（上記項目以外）	86	63	72	60	69	97	72	60	69	114	101	100	963
合計	326	329	286	290	343	373	286	290	343	450	472	453	4,241



総文書作成件数 5957 件 / 年

医師事務文書作成件数（介入分） 4241 件 / 年

介入率 71%

## ■スタッフ

- 室長 1名 総括  
 (前方業務)  
 事務員 3名 ※1名広報活動兼務  
 (後方業務)  
 社会福祉士 (MSW) 3名

## ■業務内容

## ●前方支援（医療連携）

- ・地域の医療機関や介護保険等関連施設からの受診相談や入院相談・調整
- ・他の医療機関からの紹介患者予約
- ・他の医療機関への診療予約
- ・入院中の紹介患者様の返書確認（退院報告書）
- ・紹介患者のデータ管理業務
- ・入院判定会議（ベッドコントロール）参加

## ●後方支援（医療福祉相談）

- ・退院支援→在宅復帰、転院、施設入所への相談支援・調整
- ・医療依存度の高い患者様の自宅退院の際の家族への指導助言等
- ・退院時共同支援会議の開催
- ・社会福祉・社会保障相談
- ・入院判定会議（ベッドコントロール）参加

## ●地域医療連携

- ・地域の医療連携会議への参加 等

## ●広報 ※情報管理室との連携

- ・院内職員への広報活動
- ・地域への広報活動（ホームページ等）

## ■業務体制

相談の受付窓口を地域医療連携室で対応し、相談内容によって該当部署・担当者が対応を行なっています。

対応時間

月～金曜日 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：00

※日・祝は休み

## ■活動内容

## ●市民医療講演

当院では、医療に対する正しい知識と理解を深めて頂くため、地域の皆様を対象とした院内および院外での市民医療講演を行なっています。2023年5月より実施し、合計17回（院内：15回、院外：2回）の講演を実現いたしました。

## ■医療講演の実績

## &lt;院内講演&gt;

## ●日時：2023年5月12日（金）

講師：西 英

演題：地域医療連携室ってなあに？

## ●日時：2023年11月24日（金）

講師：茨木 智佳子

演題：医療福祉相談とは、、、

## ■地域への訪問

地域とのネットワークを構築するために各所へ訪問をおこなっています。

○医療機関 471件

○消防署 34件

○企業団体 66件

## ■業務実績

## ●患者様の紹介受入・逆紹介

地域の医療機関・介護施設からのお問い合わせ・相談・ご連絡の窓口として対応しています。

## &lt;2023年（1～12月）紹介数&gt;

外来・紹介件数： 705件

入院・紹介件数： 673件

逆紹介総件数： 471件

## ■2023年 外来診療・紹介数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	11	11	11	10	18	28	26	15	14	16	14	14	188
外科	3	3	2	3	1	4	1	2	2	3	2	1	27
整形外科	14	19	22	19	16	17	11	7	14	10	6	11	166
脳神経外科	2	2	2	2	0	2	0	5	2	0	1	1	19
皮膚科	1	2	1	1	0	2	1	0	2	2	0	2	14
泌尿器科	1	1	1	2	0	0	0	1	2	2	1	2	13
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4	5	12
眼科	2	3	2	6	3	3	0	4	5	2	4	0	34
耳鼻咽喉科	0	3	1	2	2	1	3	0	2	0	0	2	16
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
救急科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
放射線科	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
MRI	14	12	13	11	6	2	9	12	15	14	28	17	153
CT	2	0	0	2	2	1	3	6	6	1	4	5	32
MRI+MRA	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	2	6
X-P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
検査科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
胃カメラ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
内視鏡	0	0	0	1	3	0	0	2	0	0	2	1	9
その他	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	55	57	59	60	52	61	56	57	66	50	68	64	705

## ■2023年 入院診療・紹介数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	16	13	12	13	18	23	32	28	31	22	27	42	277
外科	3	2	4	1	4	1	2	3	2	4	2	4	32
整形外科	11	12	16	10	7	4	2	1	2	1	0	0	66
脳神経外科	4	8	6	3	7	12	7	22	9	25	29	32	164
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
リハビリ科	4	5	1	15	6	18	12	12	15	21	15	6	130
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	38	40	39	42	42	58	56	66	60	74	73	85	673

## ■ 2023年 院内・市民医療講演実績

	日時	部署（診療科）名	講師名	演題
第1回 一部	2023年5月12日	地域医療連携室 室長	西 英	地域医療連携室ってなあに？
第1回 二部	2023年5月12日	脳神経外科（院長）	木戸岡 実	これからも増え続ける…脳卒中
第2回 一部	2023年5月26日	診療放射線科 副技師長	野口 克己	MRI画像には、何が写っているの？
第2回 二部	2023年5月26日	整形外科（名誉院長）	宮本 達也	腰痛対策は原因を見極めて
第3回 一部	2023年6月9日	リハビリテーション科 副室長	渡邊 裕文	座ることの重要性 ～その目的から座ったままでできる簡単な運動の紹介まで～
第3回 二部	2023年6月9日	内科 医師（顧問）	原島 裕	認知症のケアについて
第4回 一部	2023年6月23日	薬剤部 薬剤師	栗本 秀子	便秘と薬のお話
第4回 二部	2023年6月23日	外科部長（医師）	瀨田 拓男	当院における腹腔鏡手術
第5回 一部	2023年7月14日	眼科 医師	松本 晃典	人生100年時代の目の健康
第5回 二部	2023年7月14日	医事課 主任	飯田 良子	病院でかかるお金の話
第6回 一部	2023年7月28日	検査科 主任	三輪 成利	コロナについて
第6回 二部	2023年7月28日	小児科部長（医師）	牧野 茂	乳幼児子育てよくあるQ&A ～発達障害の疑いに対して～
第7回 一部	2023年8月25日	栄養科 主任	石川 恭子	フレイル予防のための食事の工夫
第7回 二部	2023年8月25日	循環器内科 医師（内科副部長）	平井 英基	睡眠時の無呼吸について
第8回 一部	2023年9月8日	総務課 課長	田中 誠	地震が起こったら、まずこれをしましょう！
第8回 二部	2023年9月8日	内科 医師	金 章夫	身近だけどよくわからない神経の病気について 「片頭痛・パーキンソン病・てんかん」など
第9回 一部	2023年9月28日	内科部長（医師）	田中 俊樹	糖尿病の治療の話
第10回 一部	2023年10月13日	リハビリテーション科 副室長	渡邊 裕文	立ち上がり動作について
第10回 二部	2023年10月13日	脳神経外科（副院長）	安河内 靖	今こそ知りたい！頭痛の原因と対策について
第11回 一部	2023年10月27日	検査科 臨床検査技師	宮川 智子	病院の感染対策
第11回 二部	2023年10月27日	小児科 医師	門脇 紗也佳	子どもの調子が悪いとき …医療機関の選び方
第12回 一部	2023年11月10日	臨床工学科 臨床工学技士	阿曾沼 琢磨	「いのちのエンジニア」～臨床工学技士を知っていますか？～
第12回 二部	2023年11月10日	麻酔科 医師	光藤 努	「よくわかる 麻酔のお話」
第13回 一部	2023年11月24日	地域医療連携室 社会福祉士	茨木 智佳子	医療福祉相談とは、、、、
第13回 二部	2023年11月24日	脳神経外科（院長）	木戸岡 実	こんな症状があったら、脳神経外科外来へ
第14回 一部	2023年12月7日	リハビリテーション科 部長	李 英彦	*～ご利用は計画的に～ 回復期リハビリテーションのお話です
第14回 二部	2023年12月7日	診療放射線科 放射線技師	八木 章斗	X線検査でわかること～影絵でみるX線検査
第15回 一部	2023年12月22日	医事課 副主任	山崎 純平	公費で受けられるワクチンについて
第15回 二部	2023年12月22日	健診センター センター長	岩永 資隆	結核；古くて新しい病気 ～公衆衛生の視点から～

## ■ 2023年 院外・市民医療講演実績

日時	部署（診療科）名	講師名	演題/主催	会場
2023年10月14日	脳神経外科（院長）	木戸岡 実	脳の病気とその対策 「こんな症状あったら、脳の検査を受けましょう」	東宇治コミュニティセンター 3階
2023年10月14日	小児科 医師	門脇 紗也佳	子どもの調子が悪いとき …医療機関の選び方	東宇治コミュニティセンター 3階
2023年10月14日	リハビリテーション科 係長	藤本 将志	不良姿勢がおよぼす影響 ～姿勢の改善に向けて～	東宇治コミュニティセンター 3階
2023年12月16日	リハビリテーション科 副室長	渡邊 裕文	「一生、自分の足で歩ける人生」 主催：アルスシルバー会	アルス京都六地蔵リスタシア1階

## 電子カルテ、情報系の端末、接続機器の管理・システムへの要望の対応

## ■スタッフ

SE 2名（内1名は医療情報技師取得）  
事務 1名（広報担当）

## ■業務内容

SE 業務：  
・電子カルテ環境の保守対応、端末管理  
・インターネット環境に接続されている機器管理  
・新入職者への電子カルテ操作説明  
・隔月での情報管理委員会開催  
・院内 LAN 環境の Windows7 → 10、11 への入替  
と同時に HDD → SSD 換装による速度改善等

## ■業務体制

2名体制で、日祝・夜間は呼出にて対応

## ■業務実績

～2023年6月  
旧電子カルテシステム（医次元）→新電子カルテ（SSI）に入替  
2023年3月～9月  
病棟改修に伴う電カルの設定変更、機器移動  
2023年7月～10月  
健診センター稼働に向けて準備  
2023年11月～  
健診センター稼働

## ■管理台数

電子カルテ端末：モバイル端末（iPhone）8台  
ノート PC 142台  
デスクトップ PC 120台  
ノート PC 85台  
情報系端末：デスクトップ PC 15台  
（Windows10、11に入替済み）



## ■スタッフ

保育士	
常勤	2名
非常勤	1名

## ■業務内容

職員の勤務中、子ども（0～6歳児）の保育を行う。  
歌や手遊び、お散歩などをしながら日々の生活を子どもたちと過ごす。

## ■保育児童数

登録数	30名
常勤児	5名
内訳	1歳児 3名
	2歳児 1名
	3歳児 1名

## ■一日の流れ

8:00	日勤児入室 自由遊び、お片付け
9:30	朝のお集まり、トイレ・手洗い
10:10	おやつ・うがい、一斉保育、昼食
11:50	うがい・歯磨き、午睡
14:30	目覚め、おやつ、うがい
16:00	夜間保育入室、自由遊び
16:30	お片付け、夕方のお集まり、テレビ
17:00	日勤児退室

## ■業務体制

2023年10月に保育室、寝室、トイレ、浴室の全面改装を完了しました。

## ■実施行事

日時：2023年12月19日  
行事名：クリスマス会  
参加者：児童6名、保護者6名  
児童がお遊戯や歌を保護者に披露しました。



クリスマス会の様子

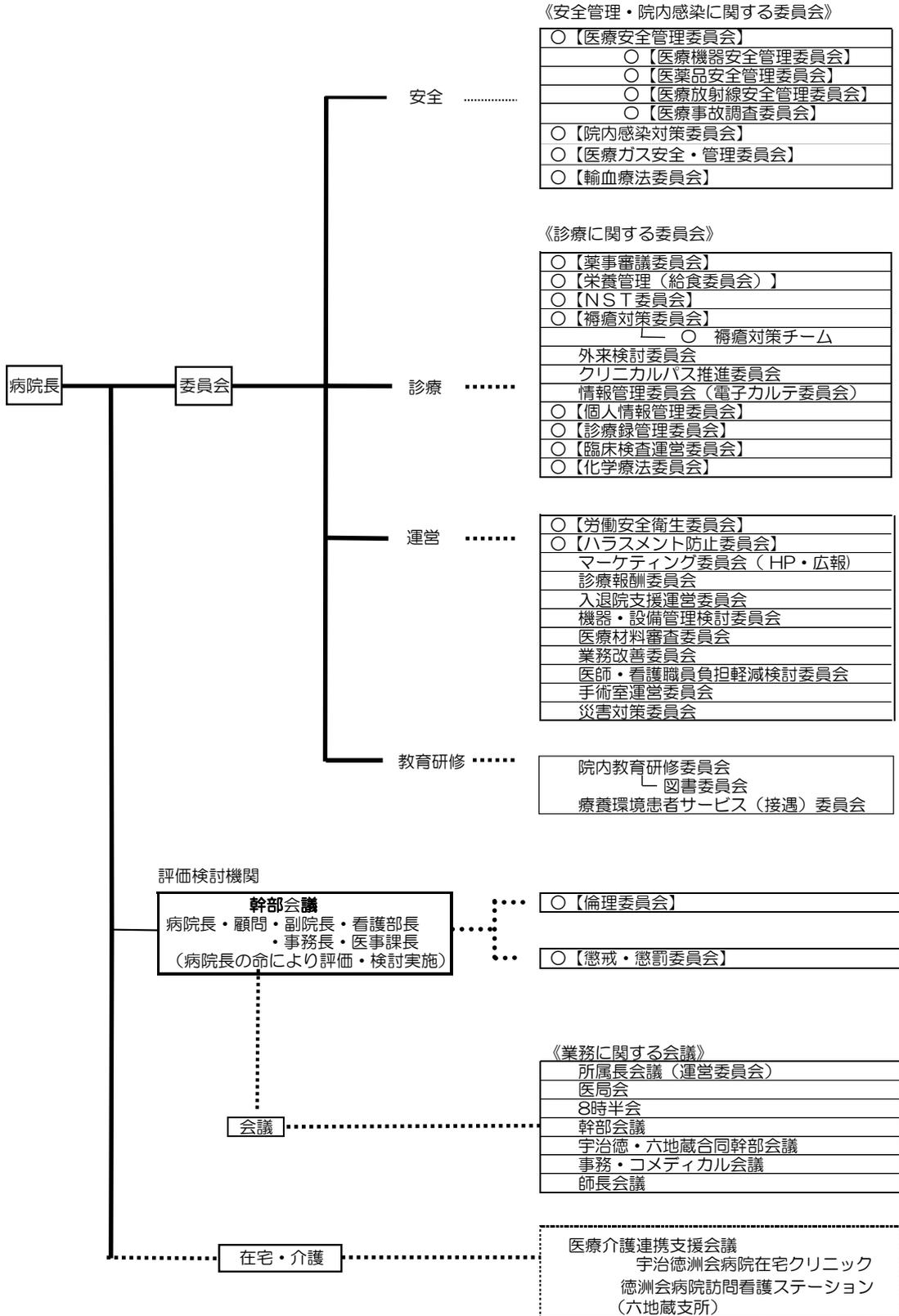


保育室



トイレ・洗面台

# 委員会組織図



2022年11月に医療法人和松会より経営譲渡を受け、医療法人徳洲会グループ74番目の病院として六地蔵総合病院の再生を開始いたしました。

40年を超えた建物（外壁の洗浄・病棟内の壁床天井塗り、張替え・和式トイレの洋式への交換等など）を1年間の時間をかけながら4病棟の改修工事に続いて、地下・1階のパブリックエリアを中心とした改修工事を順次行いほぼ完了を迎えました。

医療機器につきましても、腹腔鏡手術装置・白内障手術装置・除細動器・マンモグラフィー装置などの新規導入、機器更新を行い、2023年11月には新規に健診センターをOPENすることが出来ました。

病院運営体制が大きく変わり、その変化に戸惑いを隠せない多くの職員が六地蔵総合病院より離れて行ったことも事実です。しかし、新たに変革するそのベクトルに協調していただける多くのスタッフが集まって来ていただいていることも事実です。

(2022年10月＝職員数 245名 / 2023年4月＝職員数 287名)

病院再生に向けたセカンドステージを見据え、六地蔵総合病院がこの地で秘めるポテンシャルの高さは、職員が「共に」同じベクトルを共有することで更に前進することが出来る原動力に繋がるものと感じています。

年報発刊に先立ち、六地蔵総合病院には過去の実績データ、沿革など「六地蔵総合病院の歴史を語り継ぐ『記録』」がほとんど残っておりませんでした。六地蔵総合病院の再生の一步としてその足跡を「年報」の形で残し、これからの歴史の記録として残していけますことを祈願しております。

最後に 勤務多忙の中、作成に尽力を尽くしていただいた関係者の方々に感謝を申し上げます。

医療法人徳洲会 六地蔵総合病院  
事務長 林 裕一

編 集 マーケティング委員会

発 行 2024年5月

発行者 医療法人徳洲会 六地蔵総合病院  
京都府宇治市六地蔵奈良町9番地  
0774-33-1717  
<https://rokujizogh.jp/>





医療法人徳洲会

## 六地藏総合病院

名 称 医療法人徳洲会 六地藏総合病院

院 長 木戸岡 実

診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、  
整形外科、脳神経外科、泌尿器科、小児科、耳鼻咽喉科、  
皮膚科、肛門外科、眼科、診療放射線科、リハビリテーション科、  
麻酔科（光藤 努）、救急科

病 床 数 199床

所 在 地 〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町9番地

TEL 0774-33-1717